

波佐見中学校学校便り

学校教育目標 豊かな人生を切り拓き、よりよい未来の創り手となる生徒の育成

第17号
編集・発行
波佐見中学校
校長 池本敦司

第49回波佐見中学校体育大会 曇り空を吹き飛ばす生徒たちの熱気 大自然に爽快な風 熱い心と勇気を乗せて

9月25日(水)第49回波佐見中学校体育大会を実施しました。当初は22日実施予定でしたが、22日は前日からの雷雨で、グラウンド

コンディションが悪く、延期となりました。25日も天気が予報は雨の確率が高く、雨が落ちてこないことを祈りながらの進行でした。開会



体育大会終了後3年生の集合写真:9月25日波佐見中学校グラウンド

式終了とともに、一時雨脚がひどくなり、始まってすぐに10分間の中断。しかし、その後は、大きな天気の前れもなく、絶好の体育大会びよりとなりました。教頭の講評にもあつた通り、生徒の皆さんの思いが、雨雲を寄せ付けなかったそんな体育大会でした。私がこの体育大会で願った3つのこと(アウトプット・安全・雨が降らない)はおおむね達成できました。

全員リレー、長縄、応援、その他の個人種目、いたるところで「全力」で「手を抜かない」姿が見られました。喜ぶ姿、悔しがらる姿、クラスメイトを応援する姿、どれも本気で見ていてさすがらしい気持ちになりました。生徒の皆さんの思いや



ブロック対抗リレーのゴール

成長した姿が思い切り表現されていました。体育大会を見に来られた方々からも「感動した」「さすが波佐見中学校の生徒たちだ」「応援していて鳥肌が立ちました」など、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。生徒の皆さんの思いは見ている方々に伝わりました。



赤ブロック応援のひまわり

これを体育大会だけで終わらせるのではなく、体育大会で生まれた各ブロックのつながりや学んだことを、今後の学校行事や生活に生かしてほしいと思います。次は合唱コンクールですね。

校長日記

校長室から電話をかけた。相手の方が出られたと思ったら音声アナウンスが流れた。「この通話は品質向上のため録音しています」最近よく聞く迷惑電話防止機能か。録音されていると聞くと、冷静に話をしないといけないという心理が働く。ちよつとドキつとする。普段から電話をするときは、特に相手がどのように受け取るのか、正確に自分の言いたいことが伝わるか、かなり意識して話をしている。それでもドキつとした言葉遣いや言い回しを丁寧にしている自分の姿が頭に浮かんだ。自分を客観的に見ることが「メタ認知」という。見られている自分を意識することで、自分の欠点や改めた方がよいことも見えるという▼アナウンスにドキつとしたということは、ちよつと気持ちが緩んでいくのかも反省した。私の「品質向上」にもつながったかもしれない。